

2002.10.3

文化論 (ジェンダー論)

東北大学 2002 年度 (第 2 セメスター)

田中 重人 (文学部講師)

【授業の予定】

・前半は文学部が担当

(田中・沼崎)

・後半は法学部が担当

(辻村・山元・尾崎・久保野・嵩・土佐)

イントロダクション (10/3)

生活時間と生活周期 (10/10)

社会的地位と資源配分 (10/17)

変容の可能性 (10/24)

ここまで田中担当

【レポート】

成績評価は
期末レポートでおこないます。
(内容未定)

【ジェンダーとは】

gender = 社会的・文化的性別

↔ sex = 生物学的性別

最近の議論ではあまり区別しない。

この授業では：

性別による差異と社会のしくみとのかかわり

→具体的には、労働の割り当てに関する問題

【労働とは】

人間の活動のうち次の2条件を満たすもの

- 設備や原料と結びついて
付加価値をもつ生産物を生み出す
- 他人にかわってやってもらえる

2番目の条件がポイント

労働ではない活動の例：

寝具 + 睡眠 = 疲労回復

台所 + 食材 + 調理 + 食事 = 栄養

【有償労働と無償労働】

有償労働：

設備 + 原料 + 労働 = 生産物 → 販売

無償労働：

設備 + 原料 + 労働 = 生産物 → 消費

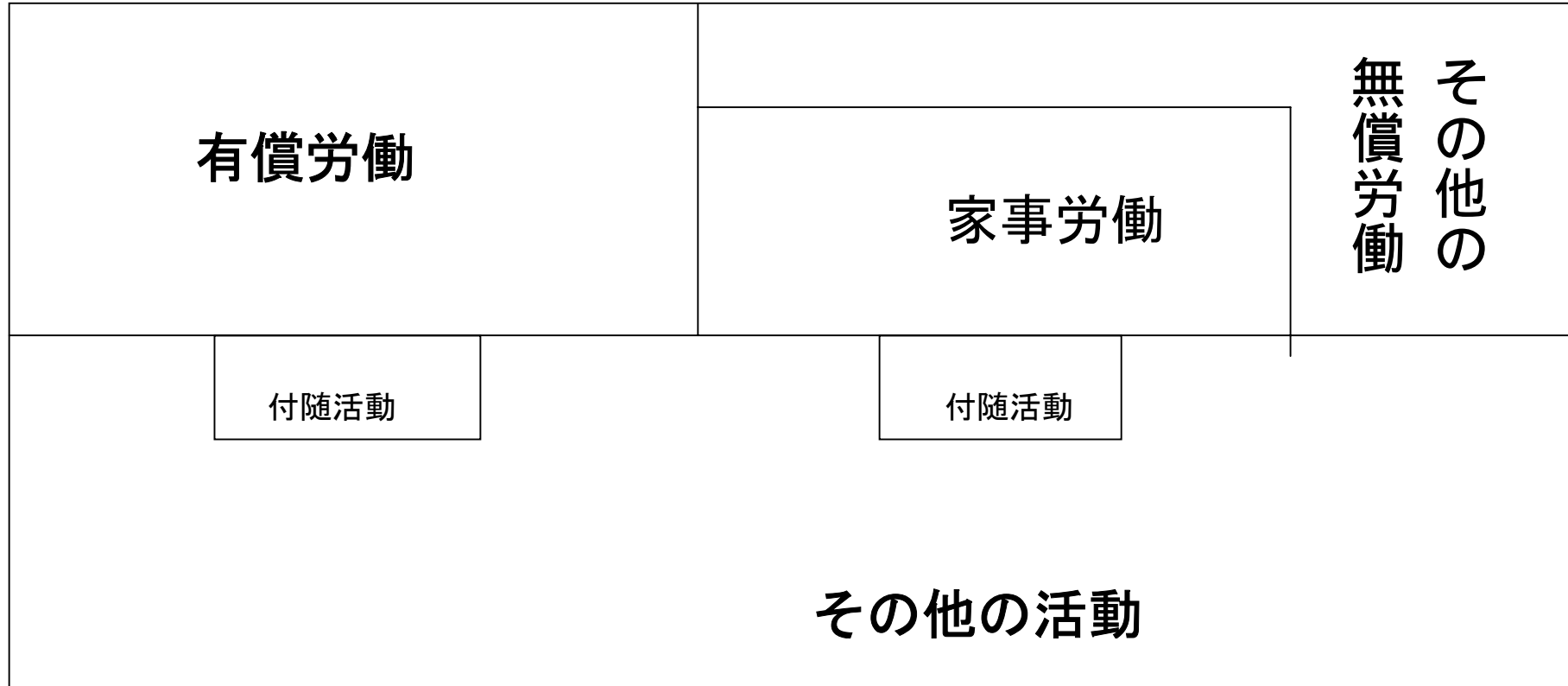
【世帯と市場の分離】

雇用労働の増加 → 「世帯」での労働と「市場」でやりとりされる労働の分離

(日本では高度成長期以降)

家事労働：

無償労働のうち、労働の提供者と生産物の消費者が同一の世帯にいる場合



【生活時間調査】

NHK「国民生活時間調査」(1960~)

総務庁／総務省「社会生活基本調査」(1976~)